

山形県広報誌県民のあゆみ令和6年7月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和6年7月号 第640号

県民のあゆみ7月号

特集1 熱中症を防ぐ行動を県民みんなで実践しよう！（2ページ）

特集2 若者の夢を応援する職業能力開発施設（4ページ）

特集3 男女ともに考えてみませんか？妊娠・出産のこと（5ページ）

奏であう人（8ページ）

潜入レポート！（16ページ）

今月の表紙

近所の公園の木陰で休憩する三世代のご家族。熱中症を防ぐには、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です。みんなで対策を実践し、健やかに夏を乗り切りましょう！（撮影場所：山形市みなみ公園）

<2から3ページ>

タイトル

特集

熱中症を防ぐ行動を県民みんなで実践しよう！

<水分補給>

のどが渴いていなくてもこまめな水分補給
1時間ごとにコップ1杯が目安です

汗をたくさんかいたときは塩分も忘れずに

アルコールでの水分補給はダメ

<暑さ対策>

屋外では日傘や帽子を使い、涼しい服装に

室内ではエアコンを使い、適切な室温に
扇風機や換気扇との併用も効果的！

幼児や高齢者は暑さを感じにくい場合があるので要注意！

気温が高い日に熱中症による救急搬送が多くなっています。熱中症を防ぐには、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です。

熱中症による救急搬送者数去年は過去最多に

昨年（令和5年）の夏は、全国的にこれまでにない猛暑に見舞われ、山形県内における熱中症による救急搬送者は、過去最多の1,111人となりました。

今年の夏も、猛暑となることが予想されています。のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をする、室内ではエアコンを使用して適温を保つなど、熱中症を未然に防ぐ行動を実践することが大切です。

県内の熱中症による救急搬送者数（5月から9月）

令和元年 765人（うち65歳以上は431人）

令和2年（注釈） 608人（うち65歳以上は398人）

（注釈）令和2年の調査期間は6月から9月

令和3年 597人（うち65歳以上は370人）

令和4年 552人（うち65歳以上は342人）

令和5年 1,111人（うち65歳以上は667人）

高齢者が6割

特に高齢者は注意が必要

熱中症による救急搬送者のうち、65歳以上の高齢者は約6割を占めています。高齢者は、暑さやのどの渇きを感じにくい、あるいは体に熱がたまりやすいなどの傾向があることから、特に注意が必要です。

また、救急搬送の発生場所は、「住居」が最も多くなっています。要因としては、エアコンがない、あるいは使用控えによるものと考えられます。建物の中であっても油断せず、水分補給はもちろんのこと、エアコンや扇風機などを適切に使用しましょう。

熱中症による救急搬送の発生場所

（令和元年から令和5年の累計に占める割合）

住居 47パーセント

公衆出入場所（注釈） 18パーセント

（注釈）劇場、飲食店、競技場、屋外駐車場をはじめとする不特定の人が出入りする場所

工場、工事現場など 10パーセント

道路 10パーセント

教育機関 4パーセント

田畑、森林など 4パーセント

その他 7パーセント

屋内でも油断しないで！

ガマンしないでエアコンを利用しましょう！

熱中症かな？と思ったら

軽症 1 度

<症状>

手足がしびれる
めまい、立ちくらみがある
筋肉のこむら返りがある
気分が悪い、ボーっとする

<対処法>

涼しい場所へ移動
水分・塩分を補給
良くならなければ病院へ

中等症 2 度

<症状>

頭ががらがんする
吐き気がする、吐く
からだがだるい
意識が何となくおかしい

<対処法>

涼しい場所へ移動
水分・塩分を補給
衣服をゆるめる
からだを冷やす
良くならなければ病院へ

重症 3 度

<症状>

意識がない
けいれん
呼びかけに対し返事がおかしい
まっすぐに歩けない

<対処法>

ためらうことなく救急車を要請

熱中症とは？

温度や湿度が高い中で、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態のことです。めまい、頭痛、意識の異常などのさまざまな症状が現れ、最悪の場合死に至る恐れがあります。

県のホームページでは、熱中症に関するさまざまな情報を紹介しています。

<https://www.pref.yamagata.jp/050015/kurashi/kankyo/kyoiku/gakushuushien/r6yamagataken-nextutyusyoutaisaku.html>

熱中症予防は毎日の情報収集から

気温が著しく高くなることが予測される場合には、前日に、環境省が熱中症特別警戒アラートや熱中症警戒アラートを発表します。毎朝のニュースや新聞、国や県のホームページなどでその日の状況を確認する習慣をつけ、熱中症を予防する行動につなげましょう。

特に、熱中症特別警戒アラートが発表された場合は、過去に例のない極めて危険な暑さが予想されます。命を守るための最大限の行動をお願いします。

暑さ指数 31 以上

<アラート（行動）>

危険（運動は原則中止、外出はなるべく避ける）

暑さ指数 33 以上

<アラート（行動）>

熱中症警戒アラート（熱中症を防ぐ行動を）

暑さ指数 35 以上

<アラート（行動）>

熱中症特別警戒アラート（命を守る行動を）

環境省の熱中症予防情報サイトはこちら

<https://www.wbgt.env.go.jp/sp/>

市町村のクーリングシェルターも活用を

市町村が指定するクーリングシェルターは、冷房設備などの要件を満たす施設（公民館、図書館など）で、暑さを避けるために誰でも利用することができます。クーリングシェルターは、熱中症特別警戒アラートが発表された場合に、施設ごとの開放可能日において開放されるほか、それ以外でも利用できる場合があります。お近くのクーリングシェルターや開放可能日などは、県のホームページやお住まいの市町村が公表する情報をご確認ください。

キャプション クーリングシェルターの例

クーリングシェルターの Web マップ

場所や開放可能日などを確認できます。

https://www.google.com/maps/d/viewer?mid=14maJsj0tSWfGVmzv6eNBRLb_q7MX-RU&ll=38.278317350506335%2C140.3590913846019&z=8

防ぐことができる熱中症

熱中症は、誰でも発症する可能性があり、場合によっては命に関わる危険な症状ですが、適切に対処すれば防ぐことができます。

家族や知人に声かけをしながら、熱中症を防ぐ行動を県民みんなで実践し、健やかに夏を乗り切りましょう！

<4 から 5 ページ>

タイトル

技術も、資格も、就職も！ 若者の夢を応援する職業能力開発施設

県の職業能力開発施設では、ものづくりをはじめ県内産業の中核を担う人材を育成しています。

職業能力開発施設では、少人数教育と豊富な実習により、普通科出身の方でも2年または1年の短期間で専門的な知識と実践的な技術を習得できます。

<魅力1 在学中の資格取得が可能！>

各学科では進路に役立つ資格取得への支援が充実しています。

【取得に挑戦できる資格の例】

- 機械加工技能士
- 1・2級施工管理技士補
- ファイナンシャル・プランニング技能士 など

<魅力2 就職率は98.8パーセント！>

学校や、企業で構成する支援組織が学生の就職活動を全力で支援します。卒業生が県内のさまざまな企業で活躍しています。

令和3年度から令和5年度の卒業生の就職先では山形の企業を選ぶ人が約90パーセント

<魅力3 学費が安い！>

学費の経済的負担を抑えられます。

初年度授業料・入学金の比較

山形職業能力開発専門校 12万円

産業技術短期大学校 53万円

国立大工学部 80万円

技術系専門学校 90万円

私立大工学部 138万円

産業技術短期大学校

エーアイやアイオーティー（注釈）などの最新技術を学べる

卒業後は県内優良企業に就職

山形大学工学部（関連学科）への編入も可能

（注釈）インターネット オブ シングス（モノのインターネット）の略。車や家電などのモノを直接インターネットにつなぐ技術

渡部莉里夏（わたなべりりか）さん

産業技術短期大学校 建築環境システム科卒

東北電化工業株式会社勤務

高校の普通科から進学しましたが、建築や建築設備を一から学べるところが良かったです。仕事は、担当した建物に光が灯ったときの達成感が大きく、やりがいを感じています。

本校（山形市）2年課程

<学科>

機械系デジタルエンジニアリング科

機械系メカトロニクス科

知能電子システム科

情報システム科

建築環境システム科

土木エンジニアリング科

<学びの特色>

スリーディースキャナーやドローンなど企業が使用する最先端の実習機器をそろえ、企業の即戦力となる技術者を育てます。

庄内校（酒田市）2年課程

<学科>

生産エンジニアリング科

情報通信システム科

IT 会計ビジネス科

<学びの特色>

最新技術にも対応したカリキュラムにより、製造業や情報通信業などで活躍する技術者や、IT・医療事務の知識を持つビジネスリーダーを育てます。

山形職業能力開発専門校（山形市）2年課程

卒業後は自動車販売店やハウスメーカーなどに就職

<学科>

自動車科、建設技術科

<学びの特色>

2級自動車整備士または建築大工2級技能士の資格取得を短期間で目指せます。

庄内職業能力開発センター（酒田市）1年課程

求職者対象のため受講料は無料

<学科>

金属技術科

<学びの特色>

板金・溶接・機械加工の基礎から専門的技術まで、初心者でも1年で身につけられます。

中学生・高校生を対象に各分野の最新技術や魅力を紹介する出前授業を実施しています！ぜひご利用ください

https://www.pref.yamagata.jp/110009/sanjin/2021_demae/2021_demae_0929.html

各施設の詳細はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/110009/sangyo/rodo/noryoku/nouryokukaihatsu/shokunoukouannai.html>

問い合わせ 雇用・産業人材育成課 電話番号 023-630-2388

タイトル

男女ともに考えてみませんか？

妊娠・出産のこと

県では、不妊を心配する方や子どもを望む方に対する支援を行っています。

妊娠・出産に関する現状

山形県の母の平均初産年齢は、上昇傾向にあります。

平成2年は26.6歳だったが令和4年は30.6歳

（出典：厚生労働省「人口動態統計」）

夫婦の約2.6組に1組が、不妊を心配したことがあります。

（出典：厚生労働省「令和5年度不妊治療と仕事との両立サポートハンドブック」）

生まれた子どもの約12人に1人が体外受精などの不妊治療により誕生しています。

（出典：厚生労働省「令和5年度 不妊治療と仕事との両立サポートハンドブック」）

知っていますか？年齢とともに下がる妊娠率

<女性の場合>

女性の卵子は、出生後には新たにつくられることがなく、質・量ともに下がっていきます。そのため、自然に妊娠する力も35歳頃から弱くなっていきます。

<男性の場合>

男性の精子は、生涯を通じてつくられますが、40歳頃から運動率・質が下がります。そのため、年齢を重ねるとともに妊娠率が下がります。

不妊症が心配なときは・・・

不妊症の原因は、男性・女性ともにあり、年齢や疾患などさまざまです。不妊症かもしれないと思うときは、産婦人科や以下の相談窓口にご相談してみましよう。

不妊症の原因

男女両方 24パーセント

男性のみ 24パーセント

女性のみ 41 パーセント

原因不明 11 パーセント

(WHO による不妊症の原因調査より)

子どもを望む方への支援制度【助成制度・相談窓口】

県では、従来から実施している不妊治療への助成に加え、早期から妊活や不妊治療について夫婦で取り組めるよう、新たに不妊検査に係る費用も助成します。また、不妊に悩む方の相談窓口「不妊専門相談センター」を設置しています。ぜひご利用ください。

新 不妊検査費助成

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/010004/kodomoseiiku/funin.html>

<助成対象>

医師が必要と認めた不妊検査を行った夫婦

<助成金額>

夫婦 1 組につき上限 3 万円

<申請先>

お住まいの地域の保健所（山形市の場合は村山保健所）

不妊治療費助成

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/010004/20220610funin.html>

<助成対象>

公的医療保険が適用される不妊治療（生殖補助治療）を受けた方

<助成金額>

1 回あたり 4~9 万円

<申請先>

お住まいの地域の保健所（山形市の場合は村山保健所）

不妊専門相談センター

産科婦人科の不妊治療専門医師が、面接または電話により相談をお受けします。予約制ですので、電話で予約をお願いします。

<予約受付>

（受付時間）電話番号 023-628-5571

（月曜日・水曜日・金曜日の午前 9 時から正午）

<相談場所>

山形大学医学部附属病院

<相談日時>

火曜日・金曜日の午後 3 時から 4 時

山形大学医学部附属病院

産科婦人科学講座 教授

永瀬智（ながせさとる）さん

不妊専門相談センターでは大学病院の不妊治療専門医師に直接、個別の事情に沿って相談できます。また、年2回、無料で受講可能なオンラインセミナーを開催し、妊活や不妊治療に関する知識に触れていただけます。妊娠率は年齢が上がると低くなるというデータもあります。ぜひ「妊娠への第一歩」として早めの活用をご検討ください。

問い合わせ 子ども成育支援課 電話番号 023-630-2347

<6 から 7 ページ>

タイトル **県政トピックス** こんなことがありました

1) 秋にはおいしい新米を届けられるように

「つや姫」「雪若丸」田植えイベント（令和6年5月16日 新庄市）

本県のブランド米「つや姫」「雪若丸」をPRするため、吉村知事と東北農林専門職大学および同附属農林大学の学生が、田植えを行いました。吉村知事は、「秋には、山形のおいしい『つや姫』、『雪若丸』、そして『はえぬき』を全国にお届けできるように願って、心を込めて田植えをしましょう」とあいさつしました。学生たちは、田んぼのぬかるみに足を取られながらも、みんなで「つや姫」と「雪若丸」の苗を一株ずつ丁寧に手で植えました。

2) 山形、東北、そして日本をけん引する農林業人材を育成

東北農林専門職大学開学式および入学式（令和6年4月8日 新庄市）

優れた技術と経営力、国際競争力を身に付け、農林業のリーダーとなる人材を育成する東北農林専門職大学が開学しました。開学式および入学式には、農業経営学科・森林業経営学科に入学する学生43名が参加し、吉村知事は「皆さんには、日本の農林業の未来を切り開いてほしい」と期待を述べました。新入生代表の工藤遼祐（くどうりょうすけ）さんは「農林業の課題を乗り越え、元気な産業に発展させるために力を尽くしたい」と抱負を語りました。

3) 県施設が自然由来の電力へ切り替え

県庁舎などへのシーオーツーフリー電力導入（令和6年4月1日）

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、県では、県庁や県警察本部庁舎などで使用する電力を自然由来の再生可能エネルギー100パーセントの電力に切り替えました。この電力は、県内の水力・太陽光・風力発電などで生み出され、発電時に二酸化炭素を排出しないシーオーツーフリー電力です。使用開始日の4月1日には、電力を供給する株式会社やまがた新電力の清野伸昭（せいののぶあき）代表取締役から吉村知事に「やまがたシーオーツーフリー電力供給証明書」が贈られました。

4) 県産酒を飲み比べ！県観光情報センターの新たな魅力

県観光情報センターリニューアル（令和6年4月1日 山形市）

山形駅西口の霞城セントラル1階にある県観光情報センターがリニューアルしました。従来の観光情報コーナーに加え、県産の日本酒30銘柄とワイン12銘柄を揃えた有料試飲コーナーを新設し、ワンコイン（500円）で3銘柄の飲み比べができます。また、酒蔵やワイナリーの担当者が銘柄の魅力やこだわりを紹介するイベント「飲みmonth（マンス）」も定期的に開催されます。県では、県観光情報センターの魅力を高め、観光客の県内周遊につなげていきます。

詳しくはこちら <https://kyokai.yamagatabussan.com/yamagatasaketrail/>

5) 山形ワイヴァンズ、プレーオフで躍動！

山形ワイヴァンズ vs ライジングゼファー福岡（令和6年5月5日 福岡県）

プロバスケットボール男子・Bリーグ2部のプレーオフが開催されました。3シーズンぶり2度目の進出となった山形ワイヴァンズは、準々決勝でライジングゼファー福岡と対戦。初戦で黒星を喫したものの、第2戦では、接戦の末、プレーオフでの初勝利を飾りました。続く第3戦も逆転で勝利を収め、チーム初となる準決勝進出を果たしました。最終的には、過去最高の4位という好成績で、節目となる10年目のシーズンを締めくくりました。

クレジット Passlab Inc.

知事コラム

山形の暑い夏を元気に乗り切りましょう!!

今年も暑い山形の夏がやってきます。昨年は記録的な酷暑となり、県内での熱中症による救急搬送者数が過去最多となりました。そのため、子どもたちが安全・安心に夏を過ごせるようにと、各学校にスポットクーラーなどの整備を行いました。県民の皆さんのためには、クーリングシェルターの周知のほか、さまざまな熱中症対策にしっかりと取り組んでまいります。

また、身体の中から暑さを和らげるのにつけていけるのが、本県自慢の夏の食ですね。

『ラーメン県そば王国』が誇る冷やしラーメンや冷たい肉そば、全国的に有名なスイカやただちや豆、各家庭で入れる具材にひと工夫ある夏野菜を刻んだだしなど、夏でも食欲が出る食べ物がたくさんあります。夏バテに負けないよう、おいしく食べて健やかに元気で過ごしていただきたいと思います。

そして、県内には、ちょっと涼を求めて、出かけるのにちょうどいい山が身近にたくさんあります。

『やまがた百名山』には、手軽なハイキングから、本格的な登山まで、いろいろな楽しみ方ができる山が各地にあります。木々に囲まれ、涼しい空気の中で深呼吸してみるのもお勧めです。豊かな自然の中でクールダウンしてみてくださいね。

山形県知事 吉村美栄子

<8から9ページ>

タイトル 奏であう人 ボリューム 76

撮影協力 1Blue 株式会社（鶴岡市）

キーワード 新たな視点で見つめる、県産食材の可能性

庄内柿を主原料とした「エナジーバー」を開発したリップス・デイビットさんと、県産食材を使用したアレルギー対応のレトルト離乳食を開発した浅野佳織さんに、県産食材の可能性についてお聞きしました。

リップス・デイビットさん（鶴岡市）

1991 年生まれ。オランダ出身、鶴岡市在住。鶴岡市内のバイオ関連企業への就職を機に、2017 年に来日。アウトドアなどで手軽に栄養補給できるエナジーバーが、欧米と比べ日本には少ないことに気づき、エナジーバーの開発を始める。庄内柿の干し柿を使用したエナジーバーを開発し、「SHONAI SPECIAL（ショウナイ スペシャル）」の名でネットや小売店での販売を行う。

写真キャプション 庄内柿の干し柿を主原料に、有機栽培の庄内産発芽玄米を練り込んだ SHONAI SPECIAL（ショウナイ スペシャル）。現代のライフスタイルを踏まえた庄内地域の食材の新しい楽しみ方を提案することで、食材の持続的な生産と消費を促し、生産者との支え合いを図っている。

浅野佳織（あさのかおり）さん（山形市）

1984 年生まれ。山形市出身、同市在住。2020 年に起業し、アレルギーを持つ子どもの育児経験から、県産食材を使った、アレルギー対応のレトルト離乳食を開発。食べられるものが限られている乳幼児に、安心して安全、そしておいしい食事を提供したいという考えのもと、こだわりの離乳食を製造し、ネットや小売店での販売を行う。

写真キャプション 有機栽培のつや姫や季節の野菜、庄内浜の新鮮な魚などを使った、レトルトの離乳食。アレルギー28 品目不使用のほか、食材を生かしたシンプルな味付けや月齢にあわせた食感など、赤ちゃんに寄り添った製品作りに努めている。製品名の「太陽と月のひかり」は、自身の子どもたちの名前に由来している。

身近な食材にそれぞれの活路を見つけて

三男が重度の食物アレルギーを発症したことをきっかけに、アレルギー対応のレトルト離乳食の開発を決意した浅野さん。そこには、息子に安全でおいしい食品を食べさせたいとの強い思いがあったと言います。

「子育てをしながら、三男のアレルギーに対応した離乳食を作るのには苦労しました。市販の離乳食に頼りたいと思う時もありましたが、添加物や産地がわからない原材料に不安を感じました。生産者の顔が見え、シンプルでおいしい離乳食が欲しいのに、そんな製品がなかったのです。同じ思いの方が私の他にもきっといると思い、ならば、私が作ろうと一念発起しました」。

浅野さんは、ゼロから食品製造の勉強を重ね、有機栽培に取り組む県内農家を訪ね歩き、製品を完成させました。

「全国各地から注文があり、山形が生み出す農産物のおいしさが評価につながっていると思います」。

デイビットさんが言葉をつなぎます。

「私は、オランダに住んでいた頃から、毎日食べたいほどエナジーバーが大好きでしたが、日本には欲しい製品が流通しておらず、困っていました。エナジーバーは、ドライフルーツやナッツ、穀物などを原材料にした棒状の携行食です。私も、日本にないなら自分で作ろうと開発を始めました」。

自然の原材料から作るエナジーバーの多くは、ベースに乾燥したデーツを使用しますが、柿農家の友人からの提案で、代わりに庄内柿の干し柿を使ってみようというアイデアがありました。

「上質な甘さと適度な粘りがあり、食物繊維が豊富な庄内柿の干し柿は、栄養面と加工面ともにエナジーバーに最適でした」。

“SHONAI SPECIAL (ショウナイ スペシャル)”と名づけられたエナジーバーは、東京のナチュラル志向のお店などでも取り扱われ、好評を得ているといます。

製品開発を通じて一次産業を盛り上げたい

高齢化や後継者不足を理由に、離農する柿農家を目の当たりにしたデイビットさんは、直接的なサポートをしたいという思いから、人手が必要になる柿の収穫の時期には、スタッフ総出で収穫の手伝いを行っているそうです。

「エナジーバーを通して庄内柿やお米などの農産物の消費を増やすことができれば、地域の農業を盛り上げることにもつながります。」と話すデイビットさんに、浅野さんが共感して応えます。

「お互いの製品を世に広めることは、原材料となるお米や野菜、果物などの生産者の情熱を、多くの人に伝えることにもつながると思います。県内には情熱を持った農家さんがたくさんいるので手を取り合いながら、山形ならではの価値を広く発信していきたいです」。

「それには、生産の現場に行ってみることが大切ですよね。それに、自然の中である仕事はとてもいい感じ（笑）。」とデイビットさん。

“こんな製品が欲しい”から始まったお二人の開発ストーリーは、県産食材の大きな可能性を教えてください。

<10 から 11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第 103 号

県会議の最新情報コチラから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

常任委員会の役割

常任委員会は、議案などについてその専門ごとに詳しく審査する常設の委員会です。その審査結果は、本会議での採決の際に重要な判断材料となるため、委員会の所管事項について見識を深める調査・活動を行っています。

各委員会の所管事項および4月閉会中委員会の主な質疑項目などは次のとおりです。

各委員会の活動状況はこちらからご覧いただけます！

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/r06iinnkai.html>

総務常任委員会

行財政の運営、総合的な企画調整、地域振興、国際交流、防災・県民の安全安心など

< 4月閉会中委員会の主な質疑項目 >

- ・屋内スケート施設の整備に関する取組状況について
- ・円安傾向が県財政に与える影響について

< 現地調査（令和6年5月22日から24日 村山・置賜地域） >

- ・デジタル技術を活用したスマートシティの取組みなどについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

文教公安常任委員会

学校教育や社会教育の振興、警察行政など

< 4月閉会中委員会の主な質疑項目 >

- ・新規採用の小学校教員の育成および支援体制の充実に向けた取組みについて
- ・特殊詐欺の被害防止に向けた「コンビニポリス」の導入効果について

< 現地調査（令和6年5月28日から30日 最上・庄内地域） >

- ・県立高校の特色のある授業や警察署・交番の運用状況などについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

厚生環境常任委員会

環境・エネルギー政策、子育て支援、保健・医療・福祉政策、病院事業など

< 4月閉会中委員会の主な質疑項目 >

- ・洋上風力発電に係る住民説明などの状況と今後の予定について
- ・移転後の県立新庄病院の利用状況について

< 現地調査（令和6年5月13日から15日 村山・置賜地域） >

- ・看護師の人材確保や老人クラブを取り巻く現状と課題などについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

農林水産常任委員会

農業・畜産業・林業・水産業の振興、農地や漁港の整備など

< 4月閉会中委員会の主な質疑項目 >

- ・やまがたフルーツ150周年に向けたプロモーションの展開について
- ・東北農林専門職大学の入学者の状況について

< 現地調査（令和6年5月14日から16日 村山・置賜地域） >

- ・食用バラの栽培や農業用水による小水力発電の取組状況などについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

商工労働観光常任委員会

商工業の振興、労働対策、観光・文化の振興、スポーツによる地域活性化など

< 4月閉会中委員会の主な質疑項目 >

- ・春の観光キャンペーンの効果および終了後の観光事業の取組方針について
- ・産業分野における水素の利活用に対する考えについて

< 現地調査（令和6年5月7日から9日 村山・置賜地域） >

- ・コロナ禍明けの観光動向や県内企業の先端技術などについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

建設常任委員会

県土（道路・河川・空港・港湾等）の整備、公営企業（電気・水道等）の推進など

< 4月閉会中委員会の主な質疑項目 >

- ・若年層の人材確保に向けた建設業の労働環境改善と魅力発信の取組状況について
- ・酒田港の基地港湾の指定の状況について

< 現地調査（令和6年5月27日から29日 村山・置賜地域） >

- ・道路や河川の防災減災対策工事や中心市街地の空き家対策などについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

東北中央道、日沿道の建設促進と

羽越・奥羽本線などの高速化促進を要望

5月10日、東京都内で、東北中央自動車道・日本海沿岸東北自動車道の建設促進および羽越・奥羽本線などの高速化促進に向け各協議会理事会を開催し、本県をはじめ、青森県、秋田県、福島県および新潟県の5県議会から議長らが出席しました。その後関係機関に対し要望活動を実施しました。

北海道・東北六県議会議長会議で

政府への要望事項を協議

5月15日、北海道函館市内で北海道・東北六県議会議長会議が開催されました。本県からは森田廣議長と矢吹栄修副議長が出席し、交通網の整備促進と財源確保、高齢者・障がい者施策の推進、食料・農業・農村政策の確立など計22項目を政府に要請することを決定しました。

広報・広聴委員会の紹介

県議会では、広報・広聴委員会を設置し、開かれた県議会の実現に向けて取り組んでいます。委員会では、この「県議会だより」の編集内容も協議しています。県民の皆さんの県議会に対する理解が深まるような紙面づくりや情報提供に努めていきます。

議会用語

< 閉会中の委員会 >

県議会は定例会や臨時会の会期が終了すると閉会しますが、議会の議決により付議された特定の案件について、閉会中も委員会を開催し審査を行っています。

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!

- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局政策調査室 電話番号 023-630-2845

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 から 13 ページ>

タイトル **ピックアップ！ 山形の旬のフルーツ**

フルーツ王国やまがたの夏は、おいしいフルーツが目白押し。
ぜひ味わってみてはいかがでしょうか。

さくらんぼ（収穫時期 6 月から 7 月）生産量全国 1 位

鮮やかなルビー色に輝き、口に入れると甘い果汁がほとぼしる「さくらんぼ」は、まさに果樹の
宝石。昨年、大玉新品種「やまがた紅王」がデビューしました！

おいしいさくらんぼは??

- つやがあり、色が均一で濃い赤い色
- 軸が太く、鮮やかな緑色をしている
- 軸の付け根の実のくぼみが深い

すいか（収穫時期 7 月から 8 月）生産量全国 3 位

本県は全国第 3 位の生産量を誇り、特に夏（7 から 8 月）の「すいか」の出荷量は日本一（注
釈）！

昼夜の温度差があるからこそ、甘くおいしくなるそうです。

（注釈）東京都中央卸売市場の取扱量全国第 1 位

おいしいすいかは？

- 果実が大きく丸い
- しま模様がくっきりし、つやが良い
- 果肉の色が鮮やかで、種が黒い

メロン（収穫時期 6 月から 8 月）生産量全国 5 位

写真提供：「食の都庄内」ブランド戦略会議

水はけの良い砂丘地、良質な地下水、日中の強い日差しや夜の涼しさなど、恵まれた環境で育つ甘い「メロン」。庄内地域で盛んに栽培され、全国的に品質が評価されています。

おいしいメロンは？

- 果実の歪みが少なく丸い
- 表面の網目が、緻密でバランスが良く、全体に均一に入っている

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

大阪エリア モンテディオ山形 アウェー戦で本県をPR

4月28日に徳島県のポカリスエットスタジアムで行われたモンテディオ山形対徳島ヴォルティス戦において、山形県のPRイベントを開催しました。

競技用けん玉生産量日本一で知られる山形工房のけん玉を使った「けん玉チャレンジ」では、来場者にけん玉の技に挑戦してもらい、成功した方に県産米「雪若丸」をプレゼントしました。行列ができるほどの盛況で、大人から子どもまで多くの方に参加していただき、ブランド米としての「雪若丸」を広く知っていただく機会になりました。また、本県への誘客につなげるため、観光パンフレットを配布するとともに、観光ニーズに関するアンケートも実施しました。

今後も大阪事務所では、さまざまな活動を通して、関西地域をはじめ西日本の皆さんに県産品や本県の観光の魅力を発信していきます。

写真キャプション けん玉チャレンジを楽しむ参加者

問い合わせ 県大阪事務所 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
電話番号 06-6341-6816

タイトル 県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）イベント情報

2024 青少年のための科学の祭典イン山形

ちょっと不思議なサイエンスの世界へようこそ！毎年恒例の人気イベント「科学の祭典」が、霞城セントラル・やまぎん県民ホールで同時開催！参加無料で、科学の仕組みを利用したさまざまなワークショップや工作体験などをお楽しみいただけます。イベント広場にはキッチンカーもやってきます。

開催日時

7月27日（土曜日） 午前10時から午後4時

会場

やまぎん県民ホール1階ロビー、2階スタジオ、屋外イベント広場 ほか
（同時開催：霞城セントラル、県産業科学館）

料金

無料・申込不要

NHK のど自慢

ゲストに川中美幸、林部智史を迎え、NHK のど自慢を開催します！この番組は、“あなたの街の、みんなのステージ。” をテーマに地域の皆さんの歌声を全国にお届けします。

開催期間

8月25日（日曜日） 午前11時50分

出演予定

予選を通過した20組程度の皆さん

ゲスト：川中美幸、林部智史

司会：二宮直輝アナウンサー

<出場申込・観覧申込について>

出場申込

ウェブ（NHK サイト専用フォーム）または郵便通常はがき（片道）

（注釈）7月12日（金曜日）締切

（注釈）応募者の中から選出された方は8月24日（土曜日）正午開会の予選会に出場いただきます。

観覧申込

ウェブ（NHK サイト専用フォーム）のみ （注釈）7月22日（月曜日）締切

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ やまぎん県民ホール 電話番号 023-664-2220

（受付時間：休館日を除く9時から19時）

山形交響楽団定期演奏会情報

庄内定期演奏会 第33回鶴岡公演

開演日時

8月31日（土曜日） 午後3時

出演

指揮&ホルン：ラデク・バボラーク

演目

シューベルト：交響曲 第7番 口短調「未完成」D. 759、

モーツァルト：ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K. 447、

ドヴォルザーク：スラヴ舞曲集 第2集 作品72

会場

荘銀タクト鶴岡（鶴岡市）

前売券

A席 4,800円 B席 4,300円 ほか

第319回定期演奏会

開演日時

9月7日（土曜日） 午後7時

9月8日（日曜日） 午後3時

出演

指揮：阪 哲朗

トランペット：セルゲイ・ナカリヤコフ

演目

山本菜摘：山響委嘱新作〈世界初演〉、

アルチュニアン：トランペット協奏曲、

チャイコフスキー：交響曲 第6番 短調「悲愴」 作品74

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A席 4,800円 B席 4,300円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 県民文化芸術振興課（山響） 電話番号 023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日付

7月6日（土曜日） 午後7時

対戦チーム

栃木SC

日付

7月14日（日曜日） 午後7時

対戦チーム

いわきFC

日付

8月11日（日曜日・祝日） 午後7時

対戦チーム

徳島ヴォルティス

日付

8月17日（土曜日） 午後7時

対戦チーム

V・ファーレン長崎

日付

8月31日（土曜日） 午後7時

対戦チーム

横浜FC

会場 NDソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

問い合わせ スポーツ振興課（プロスポーツ） 電話番号 023-630-3156

旬のやまがた美食レシピ おかひじきのガパオライス「おかがパオ」

材料（2人分）

おかひじき 150 グラム、鶏ひき肉 100 グラム、砂肝 100 グラム、赤パプリカ 2分の1個、玉ねぎ 4分の1個、にんにく 1片、生バジル適量、卵 2個、温かいご飯（茶わん2杯分）、ナンプラー 大さじ1、オイスターソース大さじ1、豆板醤小さじ1、塩・こしょう適量、サラダ油大さじ2

作り方

- 1 おかひじきはざく切り、赤パプリカは細切り、玉ねぎとにんにくはみじん切り、砂肝は1センチ角に切る。
- 2 おかひじき 50 グラム分を熱湯で 20 から 30 秒ゆで、冷水にさらし、ザルに上げて水を切る。
- 3 フライパンにサラダ油を引き、にんにくと豆板醤を炒め、香りが立ったら玉ねぎを加えて炒める。
- 4 砂肝と鶏ひき肉を加え、火が通ったら、赤パプリカと残りのおかひじき 100 グラムを加えて炒める。
- 5 ナンプラーとオイスターソースを加え、生バジルをちぎって加えて軽く炒め、火を止める。
- 6 フライパンで目玉焼きを作り、塩・こしょうを振る。
- 7 お皿にご飯を盛り、2と5と6を添えたら完成。

●レシピ提供：大学生等による食の魅力発信事業「オキラクキッチン」

伝統野菜 おかひじき

収穫時期：3月下旬から11月下旬まで

元々は庄内の海岸や砂丘に自生しており、海藻の「ひじき」に似ていることから、陸のひじき、転じて「おかひじき」と呼ばれるようになりました。江戸時代に最上川の舟運によって種が庄内地域から南陽市付近に伝わり、現在も置賜地域で盛んに生産されています。

おかひじきの最大の特徴は食感のシャキシャキ感です。青臭さやクセがないことから、野菜が苦手な方にもおすすめです。

問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課 電話番号 0238-26-6051

タイトル **おいしい山形インフォメーション**

山形県の人口と世帯数 令和6年5月1日現在（プラスマイナス前月比）

人口総数 1,015,413 人（前月比マイナス 849 人）

世帯数 401,730 世帯（前月比プラス 1,379 世帯）

【催し物】

オープンキャンパス情報

オープンキャンパスに参加するには事前申込みが必要です。

詳しくは各学校・施設のホームページをご覧ください。

県立米沢栄養大学（米沢市）

日時

8月3日（土曜日）、8月4日（日曜日） 午前11時から午後3時40分

体験授業や在学生との懇談などを行います。

電話番号 0238 - 22 - 7340

県立米沢女子短期大学（米沢市）

日時

7月27日（土曜日）、7月28日（日曜日） 午前11時から午後4時

体験授業や在学生との懇談などを行います。

電話番号 0238 - 22 - 7340

県立保健医療大学（山形市）

日時

7月20日（土曜日）、7月21日（日曜日）

①午前9時30分から午前11時45分

②午後0時45分から午後3時

施設見学や在学生との懇談などを行います。

電話番号 023-686-6688

県立産業技術短期大学校（山形市）

日時

7月28日（日曜日） 午前9時30分から午後3時

学科別に体験授業を実施します。

電話番号 023 - 666 - 8792

県立産業技術短期大学校庄内校（酒田市）

日時

7月21日（日曜日）午前9時30分から正午

学科別に体験授業を実施します。

電話番号 0234 - 31 - 2300

県立山形職業能力開発専門学校（山形市）

日時

7月13日（土曜日）午前9時30分から午後0時30分

学科別に体験授業を実施します。

電話番号 023 - 644 - 9227

県立庄内職業能力開発センター（酒田市）

日時

7月21日（日曜日）

①午前9時30分から午前11時30分

②午後1時30分から午後3時30分

電話番号 0234 - 31 - 2700

東北農林専門職大学（新庄市）

日時

7月14日（日曜日）、7月28日（日曜日）、8月17日（土曜日） 午前10時から午後4時

今年4月に開設した新校舎で初のオープンキャンパスを開催します。

大学の教育内容・研究環境説明のほか、個別相談や実習体験を行います。

電話番号 0233 - 25 - 8302

農林大学校〔県立二年制専修学校〕（新庄市）

日時

7月13日（土曜日）、7月27日（土曜日）、8月18日（日曜日）午前10時から午後3時

学科別の体験実習、校内バスツアー、学生寮での昼食など、大学校の概要説明のほか個別相談を行います。

電話番号 0233-22-1528

「第1回心臓病市民公開講座」

健康ハートの日に心臓病に関する講座を開催します。

日時 8月10日（土曜日）午後2時から4時

場所 山形市保健所（霞城セントラル）3階

入場 無料 どなたでも（100名）

参加ご希望の方はこちらにお申し込みください。申込期限は8月2日（金曜日）まで。

申し込み 山形大学医学部第一内科 電話番号 023-628-5302

問い合わせ がん対策・健康長寿日本一推進課 電話番号 023-630-2919

やまがた合同企業セミナー

県では、就職活動が本格化する前の県内外の学生（令和8年3月以降卒業予定の学生）を対象に、山形の「仕事」と「暮らし」の魅力を伝えるため、「やまがた合同企業セミナー」を開催します。就職活動に役立つ情報が満載です。ぜひ、ご参加ください。

開催日 8月22日（木曜日）

会場 サンライズホール（山交ビル7階）

お申し込みはこちら <https://yamagata-job-seminar.jp>

問い合わせ 雇用・産業人材育成課 電話番号 023-630-3265

消防学校小学生一日研修

消防ポンプ車への乗車や放水体験などの消防・防災研修を行います。

日時 7月28日（日曜日）午前10時から午後3時

会場 県消防学校（三川町）

対象 県内在住の小学生とその保護者 80名

参加費 一人1,000円（昼食代など）

申込期間 7月1日（月曜日）から12日（金曜日）

県消防学校のホームページからお申し込みください。

<https://www.pref.yamagata.jp/027007/bosai/shobo/shoubou/shobogakko/index.html>

問い合わせ 県消防学校 電話番号 0235-66-2022

【募集】

点訳・音訳・音訳校正ボランティア養成講習会受講者募集

点字図書・録音図書を製作するボランティアの養成講習会を実施します。

期間 9月4日（水曜日）から約1年間

定員 点訳・音訳（各10名程度）音訳校正（6名程度）

◎事前説明会を開催します。

受講を希望される方は、申し込みの上、必ずご参加ください。

日時 7月24日（水曜日）午後1時30分から

会場 県保健福祉センター（村山保健所）2階大会議室

申込期限 7月19日（金曜日）まで

申し込み・問い合わせ 県視覚障がい者情報センター（県立点字図書館）電話番号 023-631-5930

令和6年度カーボンニュートラル「標語」「ポスター」コンテスト作品募集！！

県では、「カーボンニュートラル実現への思い」をテーマに標語とポスターを募集します。地球温暖化を防ぐために必要なことや、身近な取組みに関する思いを込めた作品をお待ちしています。ぜひご応募ください。

応募期間 6月17日（月曜日）から9月5日（木曜日）

対象者 標語：県内にお住まいの方 ポスター：県内の小中学生

応募方法などの詳細は県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/050015/kurashi/kankyo/ondanka/contest.html>

問い合わせ 環境企画課 電話番号 023-630-2429

【お知らせ】

『若者支援コンシェルジュ』があなたのチャレンジを応援します！

高校生から40歳位までの方（もしくは団体）が、地域活動に関して気軽に相談できる窓口を設置しています。

◆ “なんでも相談窓口”

山形県を元気にする活動を始めたい方から活動中の方まで、活動する上での知りたいことや困りごとなど、お気軽にご相談ください。

◆“若者サポーター”の派遣

相談内容に応じて、地域活動の実践者（若者サポーター）が、経験と知識を生かして、現地でアドバイスや作業のサポートを行います。

◆事務局 アイソーホー株式会社

電話番号 080-4732-3804（平日午前9時から午後7時）

URLはこちら <https://yamagata-okoshiai.net>

問い合わせ 多様性・女性若者活躍課 電話番号 023-630-2694

農家の皆さまへ「収入保険」のご案内

「収入保険」は、全ての農産物を対象に、自然災害や市場価格の低下、病気・怪我など、経営努力では避けられないあらゆるリスクから収入減少を補償する公的な保険制度です。山形県農業共済組合では、令和7年の補償に向けた加入申請を随時受け付けています。

対象：青色申告を行っている農業者

申込期限：（個人）12月末まで（法人）事業開始月の前月末まで

申込先：山形県農業共済組合 電話番号 023-665-4700

詳しい内容はこちら <https://www.yynosai.or.jp/shunyu>

問い合わせ 農政企画課 電話番号 023-630-2384

山形県宝くじ情報

県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、道路や橋、学校、公園の整備など私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじは県内でお買い求めください。

サマージャンボ宝くじ 7億円

サマージャンボミニ 5,000万円

発売期間：7月8日（月曜日）から8月8日（木曜日）

問い合わせ 財政課 電話番号 023-630-2044

“明るいやまがた”夏の安全県民運動（7月22日（月曜日）から8月21日（水曜日））

夏は旅行、海や川でのレジャーの機会が増える一方、長期休暇や暑さによる気のゆるみ、疲れが出やすくなることから、交通事故や水の事故、青少年の非行や身近な犯罪などが多くなる傾向にあります。県民みんなでこれらの事故などを防止し、青少年の健全育成に取り組みながら、安全で楽しい夏を過ごしましょう。

問い合わせ 多様性・女性若者活躍課 電話番号 023-630-2694

食中毒にご注意ください！

気温も湿度も高くなる時期です。食品を取り扱う際は、しっかり手洗い、調理器具を清潔に、食品の保管は冷蔵庫で、調理後はなるべく早く食べることを心がけましょう。また、加熱できるものは中心部までしっかり加熱して、食中毒を予防しましょう。

問い合わせ 食品安全衛生課 電話番号 023-630-2677

「愛の血液助け合い運動」

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。病気やケガの治療に使われる血液製剤は、献血で提供いただいた血液からつくられます。あなたの気持ちが誰かの明日につながります。患者さんに血液をお届けできるよう、ぜひ、献血にご協力をお願いします。

献血ルームサクランボ

住所 山形市香澄町 2-2-36 山形センタービル5階

電話 フリーダイヤル 0120-107-093

予約受付時間 午前9時から午後5時

(注釈) ご来場前日の上記時間内で予約をお願いします。

他にも、県内のスーパーなどへ移動献血車が運行しています。

バスの運行状況・予約や献血ルームの詳細についてはこちら

<https://www.bs.jrc.or.jp/th/yamagata/index.html>

問い合わせ 健康福祉企画課 電話番号 023-630-2332

プレゼントクイズ

熱中症を防ぐには、「〇〇〇〇」と「暑さを避けること」が大切です。さて、〇〇〇〇には何が入るでしょうか？

ヒント2から3ページ 特集

1等 「天元豚ウインナースマーク」などの詰合せ【5名様】

(株)米沢食肉公社 第4回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」畜水産加工品部門
最優秀賞

2等 「オランダせんべいにぼせん」などの詰合せ【10名様】

酒田米菓(株) 第4回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」菓子部門 最優秀賞

正解者の中から抽選で右記賞品(指定はできません)をプレゼント!はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①から③をご入力の上、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jp に送信してください。

あて先:

〒990-8570(住所は不要です)山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」7月号プレゼントクイズ係

締め切り:7月31日(水曜日)(当日消印有効)

(注釈)応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

酒田港 前編

いろいろな船が出入りする酒田港にはどんな役割があるの？

海と陸をつなぐ玄関口。

たくさんの荷物や人が行きかいます。

江戸時代、北前船と呼ばれる商船が、北海道や酒田港をはじめとする日本海側の港、大阪などを往来し、特産品を売買することで酒田港は栄えました。その後も、海と陸の物流を結びつける重要な施設として、酒田港は本県の経済の発展を支えてきました。酒田港の取扱貨物は、外国から輸入する石炭が最も多く、私たちが日々使用する電気の発電に使われています。また、世界的な物流の中心であるコンテナ貨物にも対応し、私たちの生活で身近な落花生やフルーツ缶詰などの輸入や、自動車部品などの輸出に利用されています。物流の2024年問題では、全国的にトラックの運転手不足や輸送力低下が課題となり、大量輸送の手段としてのコンテナ船が、改めて注目されています。酒田港では、今年5月からコンテナ船の国内ルートが開通し、かつての北前船のように、国内の物流でも大きな役割を担うことが期待されます。近年、クルーズ船の寄港も増えており、物流・交流の拠点としての酒田港の役割は、ますます重要になっています。

写真キャプション 荷物が入ったコンテナをたくさん積んで運ぶコンテナ船とコンテナクレーン

ヒミツポイント

<世界を巡るクルーズ船も酒田港に!>

旅行者と地元の住民など、人と人をつなぎ、交流を図る場を提供するのも港の大きな役割。庄内地域の観光ツアーは、旅行者に好評だそうです。

<限りある資源の循環もお手伝い!>

リサイクルの物流の拠点となる港「リサイクルポート」でもある酒田港では、石炭灰、金属クズなどを新たな製品の原料として国内・外に出荷しています。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和6年7月号 640号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>